

【事業者向け】児童発達支援自己評価集計結果 2023年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	職員の人数は適切であるか	6	6	0	基準は足りていますが、マンツーマンの対応が必要な人がいたりすると不足に感じる事もある。そのため、利用者さんの特性を理解し支援方法を個別に検討することで、複数の利用者さんに安全に過ごしてもらえよう工夫していく。
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	0	0	
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	11	1	0	
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0	0	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、計画書を作成し、計画に沿った支援が行われているか	12	0	0	
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	0	
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1	0	
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	0	
	9	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	12	0	0	
関係機関や保護者との連携	10	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	10	2	0	
	11	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	10	2	0	
	12	就学前施設・学校・他事業所等との間で、相談支援員を通す等して、移行に向けて支援内容等の情報共有と相互理解に努めているか	10	2	0	

裏に続きがあります

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	13	障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4	1	健常児の利用も受け入れているが少ない。もちつき等のイベントの際は、近所等へ声掛けしている。ボランティアもいつも受け入れている。一般の公園へ遊びに行くことで、そこで健常児と共に過ごすこともある。今後も、そのような活動を続けていく。
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	3	0	
保護者への説明責任など	15	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	0	
	16	必要に応じて保護者からの子育ての悩み等に対する相談を受け、必要な助言や支援を行ったり、保護者同士の連携を支援しているか	10	2	0	コロナ禍で座談会を広く利用者へ周知しておらず、保護者同士の連携の支援は十分ではないかもしれないが、個別の相談には随時対応している。
	17	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	
	18	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	0	
	19	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	
	20	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1	0	
	21	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12	0	0	
非常時	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	1	0	子ども達は、避難訓練にあまり参加していないが、施設全体の避難訓練は定期的実施しており、非常時に備えている。
	23	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	9	2	0	
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	10	2	0	
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	0	